

Title	前号目次 奥付
Sub Title	
Author	
Publisher	慶應義塾理財学会
Publication year	1931
Jtitle	三田学会雑誌 (Keio journal of economics). Vol.25, No.11 (1931. 11)
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	
Genre	
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00234610-19311101-0169

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

エルバツハの著書「宗教の本質」に關する大綱、(三)ライブニッツに就てのフオイエルバツハの著書に關する大綱、(四)歴史哲學に就てのヘーゲルの講義に關する大綱、(五)哲學史に就てのヘーゲルの講義に關する大綱、(六)エフェッススの闇なるヘラクリトに就てのラッサールの著書に關する大綱、(七)アリストテレスの「形而上學」に對する注意書き、(八)哲學及び自然科学に關する種々なる注意書及抜粹(バウルゼンの「哲學概論」、デボーリンの「辯證法的唯物論」に關する注意書、ヘーゲルの論理學に就て書かれた諸著書の批判はこの内に含まる。)(九)クラウゼウィツの著書「戦争及び交戦に就て」に關する抜粹及び注意書)

以上の外、最近のソヴェートロシアに於ける哲學的研究の發展に關する左の論文、討論等を参照することは、唯物辯證法研究の一助となる。特に機械論と唯物辯證法との差異が明瞭となる。永田廣志譯「マルクス主義哲學の現段階」白揚社

唯物論者協會譯編、「デボーリン派」批判のために、白揚社

「哲學戰線の總決算と新任務」白揚社版、「マルクス主義の旗の下に」第四號、デボーリン、「哲學戰線に於ける討論と結語」、同雜誌第八號、

バンメル、「革命十年間における我々の哲學的發展について」同雜誌、第十號、第十一號、「共產主義アカデミーに於ける哲學論争の總決算」同雜誌、第十一號、

「哲學戰線の情勢と任務」同雜誌、第十一號

ウ、テイモスコ、「黨と勞働階級とに奉仕する哲學」同雜誌、第十二號、

イ、ポドゥウロッキ、「社會主義建設と哲學戰線」同雜誌、第十二號、

ミーチン「討論の總決算に伴ふ哲學戰線上の當面の活動任務」同雜誌、第十七號、

前號 (第二十五卷) 目次

◎明治二十年前後の社會問題に關する

自由黨左翼の見解

加田 哲二

——明治二十年代の社會思想史の二節——

◎「社會政策學會」の成立とシムモラアの

社會政策原理

奥井復太郎

——獨逸社會政策思想史續篇——

◎莊内藩の與内制度に就いて

國分 剛二

●一冊定價 金五拾錢
●半年分 金貳圓九拾錢
●一年分 金五圓四拾錢

●編輯及び事務に關する一切の用件は發行所宛

●營業に關する用件は發賣元宛

●原稿締切期日は發行の前月十日限

昭和六年十月二十日印刷
昭和六年十一月一日發行 每月一回一日發行

三田學會雜誌
編輯者 江田 範保
發行所 東京市赤坂區新町五丁目四十二番地
印刷者 金子 鐵五郎
印刷所 金子活版所

發賣元 丸善株式會社三田出張所
東京市芝區三田貳丁目壹番地
電話高輪一九二六番
尙ほ本誌は全國各市雜誌店にて販賣す

發行所 理財學會